

## 令和4年度 地域部事業報告 No.1

- 障害者スポーツボランティア情報配信システム「TOKYO 障スポ&サポート（S&S）」登録への周知・啓発活動をおこなった。また、システム登録者向け「障害者スポーツボランティア研修会」において協働した。
- 集い顔が見える活動が難しいコロナ禍において、この制約の多い困難な時にこそしっかりと学びを深め、指導者としてのスキルアップを図ることが地域活性化にも繋がるとの視点に立ち、研修部と協働し、その報告において広報部とも協働した。  
  
（日本パラスポーツ協会のアンケートによると、指導員の地域活動に繋がらない主な原因に、自信が無いという回答が多くある）
- 地域部としての自主事業は難しい状況にあり実施できませんでした。そのような中で地域部員が個々の活動として、それぞれが地元の障害者スポーツ振興に資する活動をおこなった。

## 令和4年度広報部活動報告 No.2

### 1. たよりの発行

例年通りの冊子を作製 発送作業(4月5日)

・内 容:1年間の活動を報告

理事会議事録報告

・発行部数 3200部

・発送先 東京都に活動拠点を登録している全会員

### 2. ホームページへお知らせ等情報の提供

<https://www.tcsid.com>



## 令和4年度 研修部事業報告 No.3

今年度もコロナ禍のため、オンラインでの会議を中心に部会を開催、共催事業の企画、内容、実施当日の協力体制などを検討し、研修を実施しました。また例年実施している総会時の研修、指導者協議会での独自研修については感染予防の観点から実施出来ませんでした。

### 1. 東京都、東京都障害者スポーツ協会との共催事業について

#### ① 令和4年度リスタート研修(参集型で2回開催)

##### 1回目 令和4年9月10日(土)

場所:障害者総合スポーツセンター(オンライン開催)

参加者:19名 指導者協議会 3名

内容:コロナ禍のため、オンラインでの実施となりました。①障害のある方とのコミュニケーション、②今後に向けての情報提供、③指導員の活動について、先輩指導員の立場での活動紹介、④グループワーク ⑤まとめ

##### 2回目 令和4年9月24日(土)

大型台風による交通機関の乱れが予想されたため、3者で検討し中止を判断。

上記のとおり2回目実施できませんでしたが、障害者スポーツの基本的な知識を座学で実施、学びなおしを行いました。また、先輩指導者からのアドバイスやアイデアを学ぶとともにグループワークを行って指導者間の交流、情報交換と情報の共有を図りました。

#### ② TOKYO&サポート ボランティア講習会

##### 1回目 令和4年7月10日(日)

場所:四谷スポーツスクエア(参集型での開催)

参加者:21名 指導者協議会 3名

内容:S&S 登録者を中心に研修をとおして「私にもできる」テーマで座学、実技を行いました。座学は①スポーツボランティア活動について、②障害特性に応じた対応

と配慮、③実技で視覚障害、車いす体験、④風船バレー ⑤情報提供を行いました。

2回目 令和4年12月10日(土)

場所:くにたち市民総合体育館(参集型での開催)

参加者:指導者協議会 9名

内容:オリ、パラ後の関心の高まりを受け止め、「私にもできる」テーマで、座学として①スポーツボランティア活動について、②障害特性に応じた対応と配慮、③実技で視覚障害、車いすの体験 ④ボッチャとスクエアボッチャの体験 ⑤情報提供を行いました。

### ③ 障害者スポーツフォーラム

場所:一橋大学、一橋講堂・中会議室

令和5年2月12日(日) 参集、オンラインでのハイブリッドでの開催

参加者:シンポジウム(参集)91名 (オンライン)56名 分科会(参集)111名

(オンライン)89名 相談会(参集)13名 (オンライン)1名

内容:障害者スポーツを支える活動のこれから～つなげよう新たな活動と共生社会の実現～というテーマでシンポジウム、分科会では「地域スポーツクラブの取り組み」「地域で支える障害者スポーツ指導員」のテーマで行いました。また、今回初めての取り組みとして「相談会」を実施しました。

## 2. 総合スポーツセンター、多摩スポーツセンターとの共催事業、フォローアップ研修

### ①多摩スポーツセンターフォローアップ研修

1回目 令和4年9月4日(日)水泳指導の実技

参加者:6名 指導者協議会(スタッフ)2名

内容:水泳指導のプロセスを学びながら、実技をとおして参加者が考え、学びあえることをテーマに行いました。水泳用のマスクを使用。

2回目 令和5年2月18日(土)知的障害、発達障害

参加者:6名 指導者協議会 4名

内容:知的障害者への指導方法について～運動の方法、強度、回数の決め方を

テーマに座学を行った後、体育館に移動して、子どもを対象とした「サーキット」を体

験、導入の方法、指導の工夫について参加者が意見を出し合って学びました。

## ②総合スポーツセンターフォローアップ研修

1回目 令和4年11月20日(日)重度障害者の支援

参加者:12名(うち8名オンラインでの参加) 指導者協議会 講師、スタッフ2名

内容:重度障害者のスポーツをテーマに座談会形式で行いました。

\*研修の受講者が総合スポーツセンター主催(12月3日実施)の「重度障害者対象のスポーツ教室」に参加する企画としました。(参加 1名)

## ⑤チャレスポ東京 令和4年10月8日(土)

場所:有明アリーナ

指導者協議会:3名参加

内容:パラスポーツ競技を紹介、体験できるブースを設置、コンシエルジュブースでのボランティア活動希望者の相談などに対応しました。

## 令和5年度 地域部事業計画(案) No.5

- 障害者スポーツボランティア情報配信システム「TOKYO 障スポ&サポート S&S」の推進  
受け入れ先及び指導者への周知を図り、指導者の地域活動の場の確保を図る。
  
- 地域障スポ元気事業(地域で障害者がスポーツを楽しみ、その活動を地域の指導者が担っていける場づくり)
  - ・地元で活動がしたい指導員 と 指導員を求めている受け入れ先 との交流会の開催
  - ・地域の指導員同士が知り合う場づくり(地域ブロック化を見据えて)
  
- 地域活動支援事業の推進  
会員組織の市区町村単位での活動に対し、活動費や広報などの支援をおこない、地域での障害者スポーツの普及啓発を図る。
  
- 東京都障害者スポーツ協会の地域振興事業及び多摩.総合両センター事業へ 協力する。

## 令和5年度広報部事業計画(案) No.6

### 1. たよりの発行・発送

冊子での発行

内容：指導者協議会の活動報告

理事会の報告等

発行予定部数 3200部

発送先 東京都に活動の拠点を登録している会員

### 2. ホームページの活用 地域部、研修部との連携

イベント等の情報発信

## 令和5年度 研修部事業計画 No.7

### 1. 研修の目的

東京都、東京都障害者スポーツ協会、総合スポーツセンター、多摩スポーツセンターや地域のスポーツ推進委員、関係者と連携しながら「共催事業」や「指導者協議会の独自研修」を企画開催し、指導方法や障害者スポーツについての理解向上の機会を提供することによって会員相互の交流を図り、会員のレベルアップを図ることを目的とする。

### 2. 研修の内容

- 障害別の指導方法を学ぶ。
- 障害当事者、指導者相互の交流を図り、スポーツ体験の共有を行う。
- 障害特性についての専門的な学習を行う。
- 障害者スポーツの実技、理論、ルールやマナーを学ぶ。

### 3. 令和5年度の研修予定

東京都、東京都障害者スポーツ協会との共催事業

- ① 総合スポーツセンター、多摩スポーツセンターでのフォローアップ研修
- ② 指導者リスタート研修
- ③ 障害者スポーツフォーラム
- ④ 指導者協議会主催の独自研修（総会時含め年2回予定）

### 4. 研修の実施方法

- コロナ禍の状況を見ながら「参集での実施」「オンライン研修」「ハイブリッド研修」などの方法を検討する。



## 5. 周知の方法

- 情報配信システム S&S 指導者協議会のホームページ フェイスブックを活用して周知する。

## 6. 研修後のとりくみ

- アンケートを行い、実施方法や内容に反映する。